

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ギフトテッド藍住		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行い、安心して過ごせる環境づくりに努めている。	学校や家庭との情報共有を行いながら、利用児の状況に応じた支援内容の調整を行っている。	関係機関との連携をより深め、利用児の生活全体を見据えた支援の充実を図る。
2	・集団活動を通して、社会性やコミュニケーション能力の向上を支援している。 ・余暇活動や体験活動を通して、興味関心を広げる支援を行っている。	・遊びや活動の中でルールや役割を取り入れ、友だちとの関わりを学べる機会を設けている。 ・利用児の興味や得意なことを活かした活動を取り入れ、主体的に参加できる環境づくりを行っている。	・利用児同士の関係づくりを支援する活動を取り入れ、より良い人間関係の形成を促していく。 ・多様な体験活動を取り入れ、児童が成功体験を積み重ねられる支援を行う。
3	一人ひとりの特性や理解の仕方に合わせた学習支援を行い、それぞれのペースに応じた成長を大切にしている。	学習の得意・不得意や集中の持続時間など、児童の特性を踏まえながら課題設定や支援方法を調整している。また、できたことや努力を丁寧に認めることで、学習への意欲や自己肯定感につながる支援を行っている。	利用児の特性理解を深めるための職員間での情報共有や研修を行い、より個々に応じた学習支援の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の特性や支援ニーズが多様化しており、より専門的な支援の充実が求められている。	発達特性や支援ニーズが多様であるため、より幅広い支援方法を身につける必要がある。	研修や事例共有を通して職員の専門性を高め、より適切な支援につなげていく。
2	活動内容や体験の機会をさらに広げていく必要がある。	限られた時間の中での活動となるため、実施できる内容に制限がある。	利用児の興味関心を踏まえながら、さまざまな活動や体験の機会を増やしていく。
3	将来の自立や社会参加を見据えた支援をさらに充実させていく必要がある。	年齢や発達段階によって必要な支援が異なるため。	生活スキルや社会性を育てる活動を取り入れ、将来につながる支援を行っていく。